



「善循環の輪質疑応答エッセンス集」(広報担当 大山)

「善循環の輪 ふくいの集い in 敦賀」から ◎ブルーベリー栽培について
<質問要約>

ブルーベリーは酸性土壌を好むとされていますが、EMは土壌pHにどのような影響を与えるのでしょうか？

<比嘉教授からのコメント>

ブルーベリー栽培においては、バーク堆肥をはじめとする土壌を酸性に傾ける資材を施用するのが一般的ですが、EM栽培において結果論的には、EMをじゃぶじゃぶ入れるだけでpH調整の手間をかける必要はない、という結論に至っています。

具体的な方法としては、収穫の終わった枝を丁寧に間引いて、木の葉・オガクズなどと一緒に土壌へ敷きEMをかけておくと土壌の透水性が高まります。酸性土壌を好む植物は土壌の排水性が悪くなるとよく育たない傾向にありますので、EMで透水性の高い土づくりをすることで生育環境を整えることが可能です。

要は、土壌の透水性を高め腐植が多くなるような管理をすれば、土壌のバッファ(緩衝)効果が高まり、結果として土壌pHに左右されずに良く育つ環境となります。

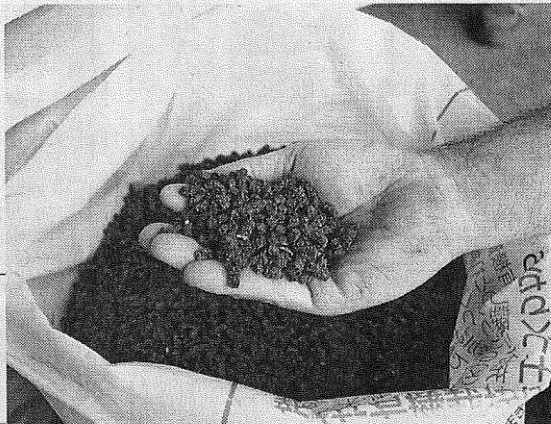
家消費している高齢者が購入するケースが目立ち、味のいい野菜ができる「収穫量が増えた」といった声が寄せら

れるという。組合は今後、人員の補充や施設の整備などを行い、年間生産量を90トほどに増やすことを検討中。遠藤所

身延町の峡南衛生組合(遠藤稔所長)が製造、販売している、土壌改良などに役立つ発酵肥料「峡南1号スペシャル」の売れ行きが好調だ。2010、11年度の年間生産量は両年度とも約45トで、組合は「在庫がほぼない状態が続いている。質のいい農産物が育つのが人気の理由では」としている。



好調な売れ行きを維持している「峡南1号スペシャル」



峡南衛生組合開発「質いい作物育つ」

生ごみ活用肥料が人気

山梨日日新聞、平成二十四年五月二十五日朝刊紙面におきまして、峡南衛生組合様の取り組みが紹介されました。

峡南1号スペシャルは、2008年から同組合が販売している生ごみを使用した肥料「峡南1号」に、土壌改良に効果があるEM菌を混ぜた脱水汚泥をフレンドした発酵肥料。ペレット状に固めてあり、亜鉛やリンを多く含んでいるのが特徴。生ごみや、尿処理施設から出る脱水汚泥を焼却処分せずに再利用することで、二酸化炭素の発生を抑えようと開発した。10年7月から販売している。価格は一袋(10キログラム)500円で、10年度は4015袋、11年度は4020袋を売り上げた。身延、早川、市川三郷町内で野菜や果物などを生産、自

長は「化学肥料を使っていないので、環境だけでなく体にも優しい。おいしい農産物がたくさん採れば、高齢者も楽しく栽培でき、生きがいになるはず」としている。

◆◆◆◆ トピックス ◆◆◆◆

福島第一原子力発電所で事故後の作業をされていた方が、EM飲料の飲用を続けたところ、作業終了後の検査で全く内部被ばくしていなかった、というご報告をいただきました。

◆◆◆◆ 比嘉教授講演会のご案内 ◆◆◆◆

◆福島県郡山市

【日時】6月16日(土) 14:00~ 【場所】福島農業総合センター(多目的ホール)
【お問い合わせ】郡山EMグループ(代表:松本美恵子) 電話: 090-9635-6740

◆善循環の輪 愛知の集い in たけとよ(併催「花のまちづくりセミナー」)

【日時】6月23日(土) 10:30~17:00 【場所】ゆめたろうプラザ 【お問い合わせ】U-net 事務局